

(第3種郵便物認可)

顕微鏡でウニ幼生観察

下田

筑波大臨海実験センター一般公開 講演や施設見学



実験に使っている機器を観察する参加者—下田市五丁目の筑波大下田実験センター

イーニ・シルバン助教が「寒さに耐える伊豆のサング」と題して講演した。参加者は二手に分かれ、施設を見学。顕微鏡でウニの幼生を観察したり、水中ロボットカメラ

で撮影した伊豆の海中を見た。参加者はホヤが脊椎(せきつい)動物に近いことや、フグが人間を識別していることなどを聞いて驚きを見せた。

下田市五丁目の筑波大下田臨海実験センター(稲葉一男センター長)はこのほど、施設的一般公開を行った。20人が海洋生物講演を聞き、施設内の見学を行った。

取り組んでいる研究や施設について知ってもら

おと開催している。昨年は改修工事のため休止し4回目の開催。

稲葉センター長が沿革やセンターで行っている研究・教育活動の概要を説明。堀江健生助教が「脳の仕組みと働きを海の生き物から探る」アゴステ